

今江校下のまいぶんマニュアル

☆☆今江校下ってこんなところ！☆☆

地形／今江校下は、加賀三湖（今江潟・木場潟・柴山潟）

にかこまれた**台地**（月津台地）の北端にあります。

現在は今江潟全体と柴山潟の3分の2は埋め立てられています。学校から城山公園の範囲には、戦国大名と一向宗との戦い（一向一揆）や、天下分け目の関が原の戦いで拠点となった**御幸塚城（今江城）**があり、公園に標柱が立っています。

年表に登場する遺跡／**御幸塚古墳**（今江町・市指定史跡）

おもな時代は**古墳時代**。教科書の小単元は「縄文のむらから古墳のくにへ」。

ポイント①＝小学校舎から南に見える高まりで、古くから加賀三湖を一望できる「**三湖台**」と呼ばれてきました。また「御幸塚」とは、平安時代に花山天皇が訪れたという伝承に由来します。

ポイント②＝この古墳は**月津台地最初の方後円墳**で、発見された**埴輪**の形から**西暦450～500年**に築かれたと考えられています。どんな人が埋葬されていたかはわかっていません。

そのほか年表未登場の重要な遺跡アレコレ

①**今江五丁目遺跡**（今江町）：小松市で最古段階となる**縄文土器**片が出土。

②**五郎座貝塚**（今江町）：貝や骨の層は未調査ですが、井戸掘り等で**貝殻**が出たという伝承あり。

③**薬師遺跡**（今江町・矢崎町）

年表に登場する月津校下の**額見町遺跡**と同じ時代につくられた、**渡来人**たちが住んでいた**むら**。

彼らは、**オンドル**という暖房機能付きの朝鮮半島系カマド（火をたく施設）をもつた**穴住居**に住み、木場校下や栗津校下などの丘陵部で**製陶**（やきものづくり）や**製鉄**（鉄づくり）を行っていました。

※今江町の遺跡のことは『今江町史』（2015年発行）をご覧ください

ぜひ授業で紹介してほしいポイント！



地形の説明



御幸塚古墳出土

円筒埴輪



今江校下の遺跡



昔の地形の等高線と遺跡